

第889回

奈良 春日若宮

おん祭

大和二国を
挙げての祭礼

12月15日(日)〜12月18日(水)

日本最古の文化芸能の祭典
国指定重要無形民俗文化財



12月

15日(日)

大宿所詣（JR奈良駅前出発）
辰市・八嶋・郷・奈良の渡り神子行列
御湯立神事（午後2時30分〜午後4時30分・午後6時）
安産・病氣平癒祈願

16日(月)

大宿所祭（奈良市餅飯殿町）
大和土宵宮詣（午後2時頃）
田楽座宵宮詣（午後3時頃）
宵宮祭（午後4時）

17日(火)

遷幸の儀（午前0時〜若宮御旅所）
暁祭（午前1時〜御旅所）
本殿祭・若宮御留守事（午前9時〜春日大社本殿と御旅所御飯殿）
試しの儀（奈良県庁前（登大路園地））
御渡り式（正午〜奈良県庁前〜三条通り〜御旅所）
南大門文名の儀（午後0時50分頃〜興福寺南大門跡）
松の下式（午後1時頃〜の鳥居内影向の松）
競馬（午後1時頃〜の鳥居内馬出橋〜御旅所前勝敗樽）
稚児流鏝馬（午後2時30分頃〜の鳥居内〜馬出橋周辺）

18日(水)

御旅所祭（午後2時30分頃〜一の鳥居内御旅所）
社伝神楽・東遊・田楽・細男・猿楽・舞楽・和舞奉納（午後3時30分頃より〜午後10時30分頃まで）
還幸の儀（午後11時頃〜御旅所〜若宮）
奉納相撲（午後1時〜御旅所前）
後宴能（午後2時〜御旅所）

※当日の天候により時間場所の出演内容を変更することがあります。

春日若宮おん祭保存会
入会者募集中

入会ご希望の方は、おん祭保存事務局まで
〒630-0212 奈良市春日野町一六〇 春日大社内
一般財団法人春日若宮おん祭保存会事務局
TEL 〇七四二-3117七八

◎大宿所祭（十五日）

「大宿所」とは、おん祭を奉仕する大和士が身を清めるためにお籠りする場所です。

十五日は、この大和士や、神子（巫女）さんの華やかな行列が町を練り歩きます。大宿所では「大宿所祭」というお祭があり、それにあわせて「御湯立」という行事が行われます。



「御湯立」とは、巫女さんが笹の葉でお湯を降り注ぎ、鈴を鳴らしてお祓いをする行事で、これには特に安産を願う人達が大勢お越しになります。当日は、おん祭にちなんだお札・お守が授与されます。

◎遷幸の儀・暁祭（十七日深夜）

おん祭は、春日大社の若宮様のお祭です。若宮様は十七日午前0時に若宮社へ本殿を出発され「御旅所」にある仮の御殿へ行かれます。これを「遷幸の儀」といい、雅楽の調べが奏でられ、暗闇のなか、松明やお香をもった人達が道を清め、その後を若宮様がお進みになる、たいへん神秘的な儀式です。

あかりをつけたり
写真をとったりしては
だめですよ！

若宮様が御旅所に到着されると「暁祭」というお祭が始まります。朝のお食事がお供えされ、巫女さんが神楽を舞います。

若宮様が御旅所に到着されると「暁祭」というお祭が始まります。朝のお食事がお供えされ、巫女さんが神楽を舞います。



◎御渡り式（十七日正午）

馬約五十頭、奉仕者一千名の大行列

正午より、巫女さんやお稚児さんが、馬に乗ってお渡りをします。これは若宮様の御旅所に参勤する行列で、様々な時代の衣装を着た人達が列を成し、たいへん華やかです。一之鳥居をくぐった先の「影向の松」という松の木の前で、いろいろな芸能が披露されます（松の下式）。お稚児さんの「流鏝馬」や、二頭の馬が競走する「競馬」も行われます。



馬に乗って
とてもあぶないから
近づかないでね！

◎御旅所祭（十七日午後二時半）

御旅所でお祭が始まると、まず若宮様に色とりどりのたいへん珍しいお食事をお供えします。仮御殿の前には芝の舞台があり、巫女さんの神楽をはじめ、お渡りをした人々による、田楽や細舞、また舞楽など古くから日本に伝わる芸能が午後十時半頃まで次々と奉納されます。この芝の舞台は「芝居」の語源ともいわれています。全ての芸能が終わると、若宮様は十八日午前0時までにご本殿に戻られます。「おん祭」とは、若宮様にお喜び頂くため、大和の人々が一つになって行うお祭です。お米が豊かに実り、皆が幸せに生活できることをお祈りするお祭です。

奈良国立博物館からのお知らせ

「春日若宮おん祭の信仰と美術」展を
みんなで見に行こう！

おん祭を記念して12月17日は全館無料公開になります。

御渡り式道順と諸神事案内

